

Dresdner Philharmonie

10th
MENICON
SUPER CONCERT
メニコンスーパーコンサート 2000

— 20世紀の輝きを21世紀へ —



Conductor
Walter
Weller

2000年6月24日(土)

福岡シンフォニーホール(アクロス福岡)

主催:九州朝日放送、朝日新聞社

特別協賛:  株式会社 **メニコン**



株式会社 メニコン
代表取締役社長

田中恭一

Kyoichi Tanaka
President
Menicon Co., Ltd.

ごあいさつ

2000年。夢と希望に満ちた新世紀がいよいよ目前に迫ってまいりました。未知数の可能性を秘めた新しい時代の幕開けは、大きな期待に瞳を輝かせて臨みたいものです。

私たちメニコンが、“多くの方々と感動を共有したい”という願いのもと、1991年より協賛させていただいております「メニコン スーパーコンサート」も、2000年という節目の年に、おかげさまで10年目を迎えることになりました。今回のテーマは「アラウンド THE ワールド」の第5弾。「20世紀の輝きを21世紀へ」をコンセプトに、今世紀までに蓄積された素晴らしい文化遺産でもある名曲の数々を各国の一流アーティストによってお届けいたします。

メニコンは、1951年、日本で初めて角膜コンタクトレンズを開発して以来、日本のコンタクトレンズのパイオニアとして瞳への安全性を第一に据えた製品開発にチャレンジする一方、“視ること”から生まれる感動をいろいろな形で支援してまいりました。この「メニコン スーパーコンサート」を通して、皆様の心に明るい21世紀への希望をお届けできましたら幸いです。

なお、本コンサート開催に向けご尽力いただきました方々に心より感謝申し上げます。

The Year 2000. We have finally entered into the new millenium, filled with so many dreams and ambitions. We find ourselves with our eyes wide open in anticipation of the unlimited possibilities for the future.

With the desire to share a truly moving experience with others, we at Menicon, again, are sponsoring the Menicon Super Concert. Thanks to your support, we have been able to continue offering this concert series since 1991. This concert is the fifth in a series entitled "Around the World". "Carrying the brilliance of the 20th Century to the 21st Century" is also an underlying theme for this series. This concert will offer some of the wonderful music created up through 20th Century which makes up our cultural heritage from around the world performed by some of the world's most renowned artists.

Menicon is the pioneer of contact lenses in Japan, having developed the first corneal contact lens in 1951. Since then, we have continued to place the utmost emphasis on the safety of the eye, especially on corneal health, in developing our products. Menicon has also worked in many ways with all the emotions evoked through the sense of sight. I would like to take this opportunity to send our best wishes to each of you in this new millenium. May all your dreams come true. Last but not least, I would also like to extend my sincere thanks to those who have given their support over this past year to help make this concert possible.



PROGRAMME

ベートーヴェン：交響曲 第6番 へ長調 op.68 「田園」
Beethoven : Symphony No.6 in F major op.68 "Pastorale"

I アレグロ・マ・ノン・トロッポ 「田園に着いた時の愉快的な気分を目覚め」 (約9分)
Allegro ma non troppo

II アンダンテ・モルト・モッソ 「小川のほとりの情景」 (約14分)
Andante molto mosso

III アレグロ、スケルツォ 「田舎の人々の楽しい集い」 (約6分)
Allegro, scherzo

IV アレグロ 「雷雨、嵐」 (約4分)
Allegro

V アレグレット 「牧歌、嵐のあとの喜びと感謝」 (約9分)
Allegretto

休憩 20分

ベートーヴェン：交響曲 第5番 ハ短調 op.67 「運命」
Beethoven : Symphony No.5 in c minor op.67

I アレグロ・コン・ブリオ (約9分)
Allegro con brio

II アンダンテ・コン・モト (約12分)
Andante con moto

III アレグロ、スケルツォ (約6分)
Allegro, scherzo

IV アレグロ (約12分)
Allegro

演奏時間は目安です。実際のテンポによって前後します。

ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団 DRESDNER PHILHARMONIE

1870年に創立され、既に130年の歴史を誇るドイツの名門オーケストラ。

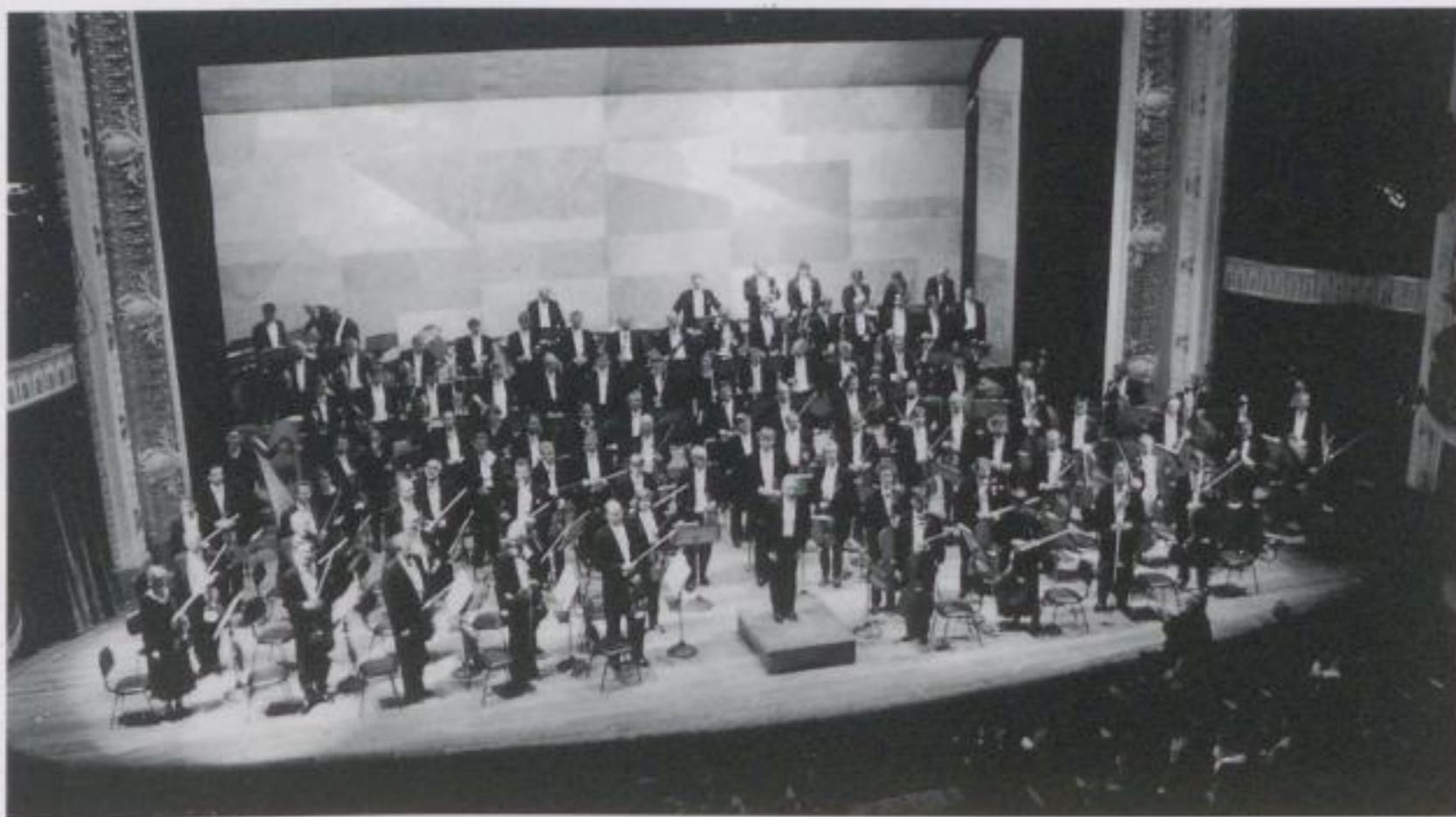
1871年のペテルスブルグ客演をはじめ、ヨーロッパ各国、1909年のアメリカ客演など早くから国外公演を積極的に行ってきた。

また1888年に、チャイコフスキーが自らの指揮で交響曲第4番を、そして89年にはドヴォルザークが交響曲第5番を演奏したのを始め、ブラームス、ハンス・フォン・ビューロー、R.シュトラウス、ラフマニノフなどとも共演している。

第二次世界大戦のため一時解散を余儀なくされたが戦後再編成された。クルト・マズア、ギュンター・ヘルビヒらが音楽監督に就任し安定した実力を誇るようになった。ヘルベルト・ケーゲルの時代には多くの録音を残し高い評価を得た。

ドイツ民主化後はイヨルグ＝ペーター・ヴァイグレそして1994年にはミッシェル・ブラソンを首席指揮者に迎えている。

ドイツらしい味わいの中に、ドレスデン独特の柔らかい響きと、同じドレスデンのシュターツカペレとは異なる新鮮さと現代感覚を兼ね備えた演奏は、世界中で高い評価を得ている。



ワルター・ウェラー Conductor : Walter Weller

1939年、ウィーン生まれ。6歳から音楽を学び、ウィーン音楽院でヴァイオリンを学ぶ。

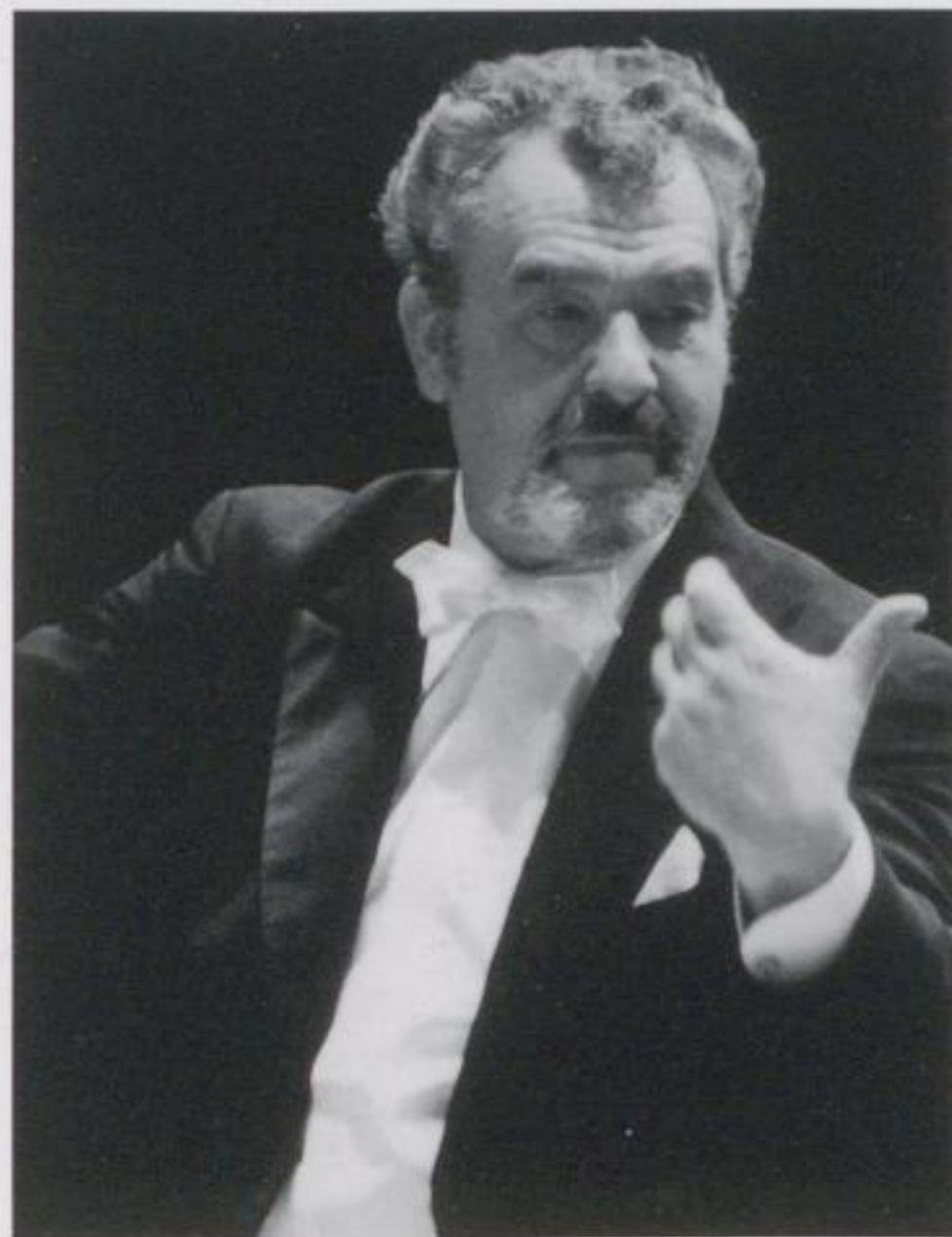
1956年、弱冠17歳でウィーン・フィルのメンバーとなり、さらに21才でコンサート・マスターに就任する。1958年、ウェラー弦楽四重奏団を結成。以後この弦楽四重奏団は国際的な音楽祭やレコーディングなど幅広い活動を行う。当時の数多くの録音は今でも名鑑としてCD化されファンの間で愛好されている。

同じくウィーン出身の名指揮者ヨーゼフ・クリップスの下で指揮を学び、1966年指揮者としてデビュー。

以降、ヨーロッパ各地で活躍。ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団やロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・スコティッシュ管弦楽団そしてロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団などの首席指揮者を歴任。

スコットランドでは50ポンド紙幣にウェラーのイメージが印刷されるという名誉を受けている。

ドイツ・オーストリア系の指揮者として現在最も幅広く活躍している巨匠の一人である。



Introduction of Programme Note

コンサートのまえに

ベートーヴェンといえば年末の「第九」演奏会などで、とてもなじみの深い作曲家ですが、本日演奏される「田園」、「運命」も彼が残した交響曲のなかのひとつです。家系はオランダ出身で、祖父の時代にドイツに移住しその後、父親からピアノの教育を受け作曲家としても活躍するようになりました。

時代的にはモーツァルトが生まれて14年後の1770年から1827年まで、ドイツとウィーンで数々の名作を生み出しました。また、途中から耳が不自由になり大変苦しんだことも有名な話ですが、そのことでいろいろな想いを作品に込めることができ、結果的に多くの人々の心を打つ作品が世に送り出されたことも事実です。

本日のプログラムは、共にベートーヴェンの代表的な作品ですが、彼の心の内から出た作品と、穏やかな外の世界に目をむけた作品との対比がとてもわかりやすく感じられる興味深いプログラムです。

ごゆっくりとお楽しみください。

ベートーヴェン (1770~1827 ドイツ)
交響曲第6番 へ長調「田園」Op. 68

この作品は一般的に、「田園風景の描写」を音楽で表わしたものなどといわれますが、第5番と同時期に書かれていることから作者の心の二面性を知る上での重要なヒントとなる味わい深いものようです。

様々な悩みを抱えていたこの時期にそれを受け止め、心の安らぎを見出したいという想いから牧歌的なテーマを選び、心のバランスを保ったのかもしれませんが、このことは、他にも同様に「対」を成す作品があることからわかります。

曲は5つの楽章から構成されています。それを日本語に訳したものを記しますので、音楽と対比しながらイメージをふくらませてみてください。

- 第一楽章 アレグロ・マ・ノン・トロッポ 田園に着いた時の愉快的気分
- 第二楽章 アンダンテ・モルト・モッソ 小川のほとりの情景
- 第三楽章 アレグロ、スケルツォ 田舎の人々の楽しい集い
- 第四楽章 アレグロ 雷雨、嵐
- 第五楽章 アレグレット 牧歌、嵐のあとの喜びと感謝

作曲年は1808年、同年の12月22日にウィーンの劇場にてベートーヴェン自身の指揮により初演されました。演奏時間は約45分です。

ベートーヴェン (1770~1827 ドイツ)
交響曲第5番 ハ短調「運命」Op.67

前半の第6番と並行して作曲されたもので、クラシック音楽の代表曲ともいえるほど人気のある作品です。冒頭の部分はどなたでも必ず一度は耳にしたことのある有名なもので、歴代の指揮者が、競って演奏会に取り上げレコード録音も数え切れないほど残されています。

第6番と「対」をなすといわれる所以は、曲想が「強い闘争心と勝利の喜び」を表現しているなどといわれ、題名も「運命」ということで、重厚な作品となっていることからです。

ところで、この「運命」という題ですが、いろいろな解説がなされていて、決定的なものはありません。そこでもっとも一般的な解釈を簡単に記します。ベートーヴェンの弟子のシンドラーが、伝えたものとされていますが、冒頭の部分の4つの音が「運命の訪れをあらわすドアノックの音」だとベートーヴェン自身が語ったということからこう呼ばれるようになったということです。もっともこの呼び名は日本だけで使われているようで、他は時折ドイツで似たような表現がされる以外、あまり親しまれていない呼び名のようなのです。

皆さんもそれぞれに印象を持たれていることと思いますが、今回は題名にとらわれず自由に発想してみてください。また、日ごろCDなどでお聴きなじみの方は本日の指揮者による演奏と比較するのも興味深いと思います。

曲は4つの楽章で構成されています。初演も第6番とまったく同様に同年同日、同劇場でやはり作者自身の指揮により演奏されました。演奏時間は約40分です。

- 第一楽章 アレグロ・コン・プリオ (快速に 生き生きと)
- 第二楽章 アンダンテ・コン・モト (歩くような速さで動きをつけて)
- 第三楽章 アレグロ、スケルツォ (速い3拍子 快速に)
- 第四楽章 アレグロ (快速に)



まなざしの休日

梅雨が明けると、いよいよ行楽シーズン。楽しみなプランがお決まりの方もたくさんいらっしゃることでしょう。

海や山でたっぷり遊んだ帰りは、つい、車や電車の中で眠りこんでしまうものですが、眠っている間も瞳は呼吸していることをご存じですか？特にコンタクトレンズをお使いの方は、裸眼の方より酸素不足になりがちです。瞳が呼吸困難にならないように、たっぷり酸素を通すコンタクトレンズを選択し、定期的に眼科医の検査を受けるなど、瞳のケアを忘れないようにしてください。

さてきょうは名曲と名演奏にふれられる日。夏休みを待ちながら、一足早く贅沢な時間をお過ごしになってはいかががでしょうか。

橋口ビル眼科 院長 南野 麻里子

コンタクトレンズなのに
遠近両用？

できたんだ。



メニコンから
遠近両用コンタクトレンズ「メニフォーカル」
ハードとソフト同時新発売。

遠近両用コンタクトレンズ

メニフォーカル

高い酸素透過性とすぐれた乱視矯正力

ハード メニフォーカル Z

医療用具承認番号 21100BZZ00774

つけ心地やさしい含水率72%素材

ソフト メニフォーカル S

医療用具承認番号 20500BZZ01093

メニフォーカル お客様センター

あなたとメニフォーカルをむすぶホットステーション

製品、取扱店についてのお問い合わせは…

詳しい資料のご請求は…

メニフォーカルのすべてがわかる…

TEL.03-5214-3103

(9:00~18:00 土日も受付)

☎ 0120-217-103

(24時間自動音声受付)

www.menifocal.com

お願い:コンタクトレンズは医療用具、必ず眼科医の処方を受けてお求めください。●装着時間をお守りください。●取扱方法を守り、正しくご使用ください。●提示された定期検査は必ずお受けください。●少しでも異常を感じたら直ちに眼科医の検査をお受けください。メニフォーカルZの連続装用は眼科医の指示によりお始めください。※連続装用の承諾書と管理手帳の内容をお守りください。なお、涙の量、アレルギー体質などが原因で、連続装用できない方もあります。

白内障の盲導犬に光を! メニコンは、社団法人・日本獣医師会の後援のもと、白内障を患った盲導犬に無償で動物用眼内レンズ「メニわんレンズ」を挿入する「白内障の盲導犬に光を!」事業を行っています。

株式会社 メニコン

〒460-0006 名古屋市中区葵三丁目21番19号



— 20 世紀の輝きを 21 世紀へ —

AROUND THE WORLD

 Menicon